

音楽の物語



幸せの音

ある日、ひとりの妖精が歩いていると丘の上から美しい音色が聞こえてきました。丘の上には、美しい音色を奏でる楽器を持った4人の妖精が演奏をしています。

わあ、素敵な演奏だね！

ありがとう！

みんなは、ここで何をしているの？

私たちは今音楽でみんなを幸せにする音楽祭の準備をしているところだよ。自慢の楽器を使ってね。

なぜ、そんなに素敵な音を奏でることができるの？

それはね…

みんなは楽器の素晴らしさを話しはじめました。



私の住む山には木のおじさんがいつも透き通った音を聴かせてくれるの。だから木のおじさんにその素敵な音のことを聞いてみたの。

どうしてそんなにそよそよ ヒラヒラ さわやかな音が出せるの？

それはねお日さまの光をたっぷり浴びて大きく育った葉っぱたちがこすれ合って奏でる音じゃよ。

私もその音を奏でてみたいな。

それじゃこれをあげよう。木の枝で作った服じゃよ。わしと同じ音を出してくれるよ。

ありがとう！

こうして心がやすらぐ音色を奏でるバイオリンの服をもらったの。



僕の住む森には花のおねえさんたちがいつもきれいな音を聴かせてくれるんだ。だから花のおねえさんたちにその素敵な音のことを聞いてみたんだ。

どうしてそんなにイキイキ ニコニコ はなやかな音が出せるの？

それはねきれいに咲いた私たちの姿を見てほしいからきれいな音を出してみんなに教えているの。そんな私たちを見て喜んでくれるともっときれいになろうと思うの。

僕もその音を奏でてみたいな。

それじゃこれをあげるよ。森で咲いた花で作ったトランペットよ。私たちと同じ音を出せるわ。

ありがとう！

こうして僕は心が明るくなる音色を奏でる花のトランペットをもらったんだ。



私の住む空には風のおばあさんがいつもやさしい音を聴かせてくれるの。だから風のおばあさんにその素敵な音のことを聞いてみたの。

どうしてそんなにしっとり ふわふわ やわらかな音が出せるの？

それはねいろんな国のいろんな音を聞いているからよ。小鳥のさえずりも、雨粒が葉っぱに弾ける音もとてもきれいな。その時の素敵な気持ちをみんなに届けたくてね。

私もその音を奏でてみたいな。

それじゃこれをあげるよ。風の音を織り込んで作ったスカートよ。私と同じ音が出せるわ。

ありがとう！

こうして私は心がおちつく音色を奏でるピアノのスカートをもらったの。

僕の住む海には波のおにいさんがいつも楽しい音を聴かせてくれるよ。だから波のおにいさんにその素敵な音のことを聞いてみたんだ。

どうしてそんなにわくわく ドキドキ うきうきする音が出せるの？

それはねいつもたくさんの海の生き物たちと一緒に楽しく泳いでいるからだよ。

僕もその音を奏でてみたいな。

それじゃこれをあげるよ。貝がらで作った太鼓だよ。俺と同じ音が出せるよ。

ありがとう！

こうして僕は心が弾む音色を奏でる貝がらの太鼓をもらったんだ。



すごいね！だからそんな素敵な音が出るんだね。

うん、そうなんだ！この素敵な音をもっとたくさんの人に聴いてもらって喜んでほしいと思っているんだよ！だからこれからみんなで街に演奏にいくんだ！

いいな。僕も仲間に入れてほしいけど…

君は指揮者をやってよ。みんなのきれいな音をまとめてくれると嬉しいな。

ありがとう！やってみよう！

5人の妖精たちが街に到着し演奏を始めると素敵な音色に誘われてこの日を楽しみにしていた街の人たちが集まってきました。

妖精たちの演奏はまるで魔法のようにキラキラとみんなの心を幸せにし笑顔で街を包み込みました。

